

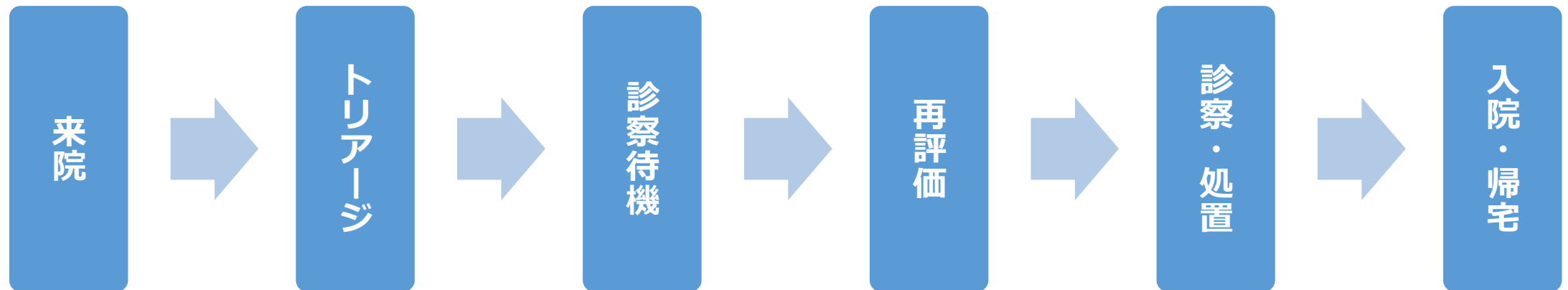
院内トリアージ実施について

当院では、時間外（夜間・休日）に受診された患者様に対して、来院後速やかに看護師または医師が緊急度を判定し、緊急度が高い場合は優先的に診療する体制をとっております。

重症の方は優先的に診療を受けることができます。

緊急度が低い場合は早く受付をされていても、待ち時間が長くなることがあります。

〈 夜間・休日または深夜におけるトリアージの流れ 〉



院内トリアージの判定基準（JTASに準拠）

緊急度判定レベル	診察の必要性	症状の特徴例	再評価の目安
レベル1 蘇生	直ちに診察・治療が必要	心停止・重症外傷・痙攣持続・高度な意識障害など	治療の継続
レベル2 緊急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛・激しい頭痛や腹痛・自傷行為など	15分ごと
レベル3 準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧・痙攣後の状態（意識は回復）など	30分ごと
レベル4 低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症・縫合を必要とする創傷（止血済み）など	1時間ごと
レベル5 非緊急	2時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー症状、軽度の外傷など	2時間ごと